

会 報

平成17年度第1回日本公衆衛生学会理事議事録

- I 日 時 平成17年 4月19日(火)13:30~16:30
 II 場 所 東京厚生年金会館
 III 出席者 理事長 多田羅浩三
 学会長 岸 玲子
 理 事 入山文郎 遠藤 明
 大井田隆 角野文彦
 金川克子 小林廉毅
 近藤健文 佐藤 洋
 篠崎英夫 澁谷いづみ
 新庄文明 嶋本 喬
 瀬上清貴 中川秀昭
 中原俊隆 松田 朗
 三角順一 村嶋幸代(20名)

監 事 宮武光吉 (1名)

委任状提出者

- 副会長 飯塚弘志 太田 博
 宮田睦彦 (3名)
 理 事 相澤好治 阿彦忠之
 實成文彦 伊達ちぐさ
 納谷敦夫 藤田利彦
 (5名)

監 事 能勢隆之 (1名)

オブザーバー

鏡森定信 (富山医科薬科大学教授)

多田 學 (中国労働衛生協会 副理事長)

現在理事数29人,出席者20人,委任状提出者9人
 学会規定第13条第1項による定数に達している
 ことを確認の後,多田羅浩三理事長が議長となり
 開会を宣した。議事に先立ち多田羅理事長から挨拶
 があった。

議事録署名人の選出

議事録署名人に松田 朗,金川克子理事が指名
 された。

議 事

第1号議案 第64回(平成17年度)日本公衆衛生 学会総会について

岸 玲子学会長から資料に基づき,タイムスケ
 ジュールと詳細な説明があった。

1. 今回の総会は学会長講演,特別講演3題,教

育講演6題,メインシンポジウム,シンポジウム
 9題,フォーラム3本,教育ワークショップ2本
 用意しており,かなりもりだくさんなプログラム
 になった。

2. 学会長講演,特別講演2題,教育講演4題,
 メインシンポジウム,シンポジウム3題は市民公
 開の予定である。

3. 今回は埼玉以降開催されていない,教育ワ
 ークショップをとりいれた。

4. 今回から参加者なら誰でも参加できる交流懇
 親会を開催する。

また,学生が学会総会で発表する場合,共著者
 を含めて会員であることが必要か,また学生の参
 加についてどのように対応するか検討して欲しい
 旨説明があり,検討の結果,総会の参加について
 は学会長が決める,学生でも演題発表は会員に限
 ることとした。今後学生会員制度を作るかどうか
 については,庶務担当理事で検討することとした。

以上につき,本議案は了承された。

第2号議案 第65回(平成18年度)日本公衆衛生 学会総会について

鏡森定信次期学会長から,以下のとおり説明が
 あった。

1. 準備は順調に進んでおり,連休明けに準備会
 を開催予定である。

2. 会期は平成18年10月25日から27日とし,県民
 会館,国際会議場を会場とする。

以上につき,本議案は了承された。

第3号議案 第66回(平成19年度)日本公衆衛生 学会総会について

多田羅理事長から第66回(平成19年度)日本公
 衆衛生学会総会学会長候補の選定について,引き
 続き検討しているとの説明があった。

以上につき,本議案は了承された。

第4号議案 その他

中原俊隆理事から,大学評価・学位授与機構か
 ら機関別認定評価に係る専門委員候補者の推薦依
 頼があり,理事長,庶務担当理事と相談の上,今
 回は佐藤 洋,小林廉毅,實成文彦,三角順一,
 中原俊隆,新庄文明,村嶋幸代の各理事を推薦し
 たい旨説明があった。

以上につき,本議案は了承された。

報告事項

1. 委員会報告

1) 編集委員会

小林廉毅編集担当理事から以上のような報告があった。

(1) 今年度は英文誌発行を11月号とし、原稿の締め切りを5月末とすることとした。総説、論壇の投稿を期待している。

(2) 投稿規定の変更を検討しており、著作権の委譲をはっきりさせる、謝辞の項目に助成金、物品の供与を明記するなど盛り込むことを考えている

2) 公衆衛生研修委員会

大井田隆委員長から、公衆衛生学会員の資質の向上に関する調査（郵送での回答）結果について説明があった。今後委員会を開催し、調査結果をどのような形で発表するか、また、調査結果から本学会として認定制度のあり方をどうするか検討する旨の報告があった。

3) 地域保健委員会

阿彦忠之委員長欠席のため渋谷いづみ理事から4月11日開催の委員会（詳細については委員会報告を参照）と学会総会時の「虐待予防フォーラム」の企画案について報告があり、「虐待予防フォーラム」には多数の参加を期待している。また、禁煙ガイドラインの公衆衛生学会担当分、JR各社への禁煙の再要望と回答、公衆衛生第68巻第12号に掲載した「日本公衆衛生学会における喫煙対策の取組について」の説明があった

4) 感染症対策委員会

角野文彦委員長からこれまでのHIVの拡大について検討してきたことをまとめた報告書を作成中であり、また、学会総会時開催の「感染症フォーラム」の企画案について報告があった。

5) 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

金川委員長から4月16～17日に「公衆衛生看護活動を担う保健師教育に必要なコアカリキュラム作成のためのワークショップ」を開催し、53人の参加者があり、活発な意見交換が行われ、各グループのコアカリキュラム案をまとめ報告書を作成し、7月上旬に報告会を開きたい旨報告があった。

6) IT化検討委員会

中川秀昭委員長からホームページのアクセス数

について報告があった。

2. 選挙管理委員会報告

岸委員長から第12回役員選挙の告示について説明があり、機関誌52巻4号に掲載されることが了承された。

3. 地域保健対策の見直しについて

瀬上清貴理事から、厚生労働省における地域保健対策の見直しについて説明があった。

4. 第72回日本医学会定例評議員会について

2月23日に開催された第72回日本医学会定例評議員会に出席した多田羅理事長から、第27回日本医学会総会（大阪）の準備状況、および平成16年度医学会に新規加盟した学会は日本臨床細胞学会である旨報告があった。

5. 名誉会員の推戴等について

入山文郎理事から名誉会員の候補者を5月中に事務局宛、推薦してほしい旨依頼があった。

6. その他

近藤理事から「日本循環器管理研究協議会 第17回日本循環器病予防セミナー」の後援名義使用の依頼について承諾した旨報告があった。

次回理事会は7月21日（木）東京厚生年金会館で1時半から開催の予定である。

以上で議事を終了し、多田羅理事長が閉会を宣した。

平成17年度第1回 地域保健委員会議事要旨

日 時 平成17年4月11日(火)15:00～16:30

場 所 日本公衆衛生協会3階会議室

出 席 阿彦忠之、渋谷いづみ、瀬上清貴、三角順一、多田羅浩三(理事長)

欠 席 嶋本 喬、實成文彦

ゲスト 平子哲夫(厚生労働省健康局総務課課長補佐)

1. 第64回総会における「虐待予防フォーラム」について

前回の検討結果をもとに阿彦委員長が準備した資料をもとに、開催趣旨や進め方を検討した。「人権」と「予防」に焦点を当て、基調報告(当委員会の検討結果を報告)と話題提供(4人)及び討論で構成するフォーラムを予定。(企画案は別紙のとおり)

なお、北海道保健所長会長を通じて「虐待予防

がテーマなら、北海道公衆衛生協会でも共催したい」という申し出があったので、同協会との共催事業として、道内関係機関に幅広く案内して公開で開催することとした。

2. 国内9学会合同禁煙ガイドライン等について

阿彦委員長より、同ガイドラインの原稿がほぼ完成し、作成班事務局（日本循環器学会）で外部評価（査読）後に11月までには出版予定（参加学会には一定部数が無償配布）であることが報告。参加学会がそれぞれの学会誌に「担当分」のガイドライン部分を掲載することについては制約がないとの合意を得ているので、当学会が担当した総論第2節（簡易禁煙指導）、第4節（禁煙政策への積極的関与）、及び第5節（禁煙環境の整備）

のうち、第4節と第5節については要約版を公衆衛生雑誌に掲載して会員に情報

提供してはどうかという意見があった。（ホームページへの掲載を含めて今後検討する）

また、同ガイドライン作成班がJR各社に対して実施した「JRの車内及び駅構内全面禁煙化」の要望（平成17年2月）の内容とこれに対するJR各社からの回答が報告された。（別紙のとおり）

3. 地域保健対策の見直しについて

ゲストの平子課長補佐より、健康局主催の「地域保健対策検討会」の資料をもとに、地域の健康危機管理や地域保健計画のあり方についての検討内容（概要）が説明され、意見交換した。